

鶴岡アートフォーラム特別展覧会
市民交流プログラム

「2000 年後のタイムカプセル」展

会場：鶴岡アートフォーラム

会期：2007(平成 19)年 4 月 14 日(土)－5 月 27 日(日)
月曜休館 38 日間

997-0035 山形県鶴岡市馬場町 13-3

T/0235-29-0260 F/0235-22-6051

鶴岡アートフォーラム (お問い合わせ：那須、山岸)

この度、鶴岡アートフォーラムは「2000 年後のタイムカプセル」展を開催いたします。

わたしたちの身近にある日用品が 2000 年後に発掘されたら、未来の人たちはどんな反応を示すでしょうか？

会場のなかに一歩ふみだすと、幻想的に浮かび上がる遺跡。そのなかに埋もれた携帯電話、時計、蚊取り線香、空き缶のプルトップ、ほかにも発掘された出土品の数々。

でもよくみると、それらは大昔のものではなく、現代の日用品ばかりです。

じつは、そこに展示されているオブジェは、アーティスト柴川敏之が「2000 年後に発掘された現代」を想定して制作したアート作品です。現代の身のまわりの物が化石に見立てられ、「未来からの視線」を演出された空間が拡がり、まったく違った表情で私たちに語りかけてきます。

また、作品展示とともに、クイズ形式の作品紹介や、アーティストの公開制作、ワークショップなども行います。

この企画は、子どもから大人まで気軽に楽しめる親しみやすい内容であると同時に、いつもとは視点をガラリと変えることで、自身の生活習慣や環境問題などを見直す機会を与えてくれます。現代社会のわたしたちは未来に何を残していくべきなのか、そんなメッセージも込められています。

さあ、タイムマシンに乗って、2000 年後の未来から現代を眺めてみましょう！

■開館時間：

9:30-19:00 (入場は 18:30 まで)

月曜休館

ただし 4 月 30 日 (月・振休) 開館、翌 5 月 1 日 (火) 休館

■観覧料：

一般 200 (160) 円 / 高校・大学生 100 (80) 円

中学生以下無料

() 内は 20 名以上の団体料金

■共通観覧券：

当館で同時開催の「パレットの記憶 日本近代洋画家たち」展もあわせ、2つの展覧会がご覧いただけます。

*会期が異なりますのでご注意ください。

一般 400 (320) 円 / 高校・大学生 250 (200) 円 /

中学生以下無料

() 内は 20 名以上の団体料金

心身障害者の方は半額、介助者は無料

学校の教育活動として観覧する場合 (引率教員含む) は無料

主催：鶴岡アートフォーラム / 鶴岡市教育委員会

内容

●展覧会「2000年後のタイムカプセル」展

【会期】2007(平成19)年4月14日(土)～5月27日(日)

【休館日】月曜日

ただし4月30日(月・振休)開館、翌5月1日(火)開館

【会場】鶴岡アートフォーラム

【観覧料】一般200(160)円／高大生100(80)円／
中学生以下は無料

()内は20名以上の団体料金

【内容】柴川敏之氏の作品展。また、ワークショップ参加者の作品を館内に設置

●公開制作「拓本作品の制作(一般公開)」

【日時】2007年(平成19)年4月1日(土)
14:00～15:00

【場所】鶴岡アートフォーラム内

【参加】見学無料、申込不要

【内容】

展覧会の開催を前に、アーティスト柴川敏之氏が作品を制作する様子を一般公開します。

「未来に発掘された現代」をテーマに、現代の日用品や鶴岡ならではのモチーフを探し、拓本にとります。いったい何が拓本になったのか、その答えは後日、館内に掲示されます。アーティストと身近に交流できる機会です。

●ワークショップ「2000年後を探検しよう！」

【日時】2007年4月29日(日)14:00～17:00

【場所】鶴岡アートフォーラム内

【対象】3歳～大人(小学4年生以下は保護者同伴)

【定員】20名

【参加費】500円

(保護者・引率者の方は観覧券が必要です)

【アーティスト】柴川敏之

(美術作家／福山市立女子短期大学助教授)

【申込み】4月5日(木)より先着順

電話(0235-29-0260)または来館受付(受付時間9:30～19:00)

【備考】汚れてもかまわない服装でご参加ください。作品は展覧会終了後に返却可

【内容】

2000年後の未来人になったつもりで、アーティスト柴川敏之氏と一緒に展覧会場内を探検します。

会場で発見した面白い凹凸を、インクとローラーで拓本にとります。できた拓本は着色して仕上げ、完成作品は館内の壁一面に設置する予定です。

■アーティストプロフィール

柴川敏之（しばかわ・としゆき）

大阪府出身。「2000年後から見た現代」をテーマに、未来に出土された「遺跡」「遺物」を想定した作品で知られる美術作家。全国各地の美術館やギャラリーなどで精力的に展覧会活動を行っている。親しみやすいコンセプトと作品、多彩なワークショップ企画は、子どもから一般まで幅広い層に支持されている。現在、広島県在住。

柴川敏之のホームページ

<http://www.gaden.jp/arts/shibakawa.html>

■市民交流プログラムとは？

作品展示という従来の展覧会の形式にとどまらず、市民とアーティストとの交流を通じて作品世界の理解を深め、さまざまな芸術表現に親しむ機会を盛り込んだ普及企画です。